

## 第3回猪苗代町議会定例会 町長説明要旨

開会：令和8年3月3日(火)

本日、令和8年第3回猪苗代町議会定例会を招集いたしましたところ、議員の皆様には、何かとご多用の中ご出席いただき、ご審議をお願いできますことに対しまして、深く感謝申し上げます。

提出議案等の説明に先立ち、当面する町政の諸課題につきまして、所信の一端を申し上げたいと存じます。

### (物価高騰に伴う支援事業について)

はじめに、1月の臨時会において、ご議決いただきました物価高騰に伴う支援事業について申し上げます。

まず、子育て世帯並びに高齢者世帯の支援事業については、2月末にそれぞれ1回目の支給を行っております。子育て世帯への支援は、国の「物価高対応子育て応援手当2万円」に町が独自に1万円を上乗せし、子ども1人当たり3万円を1,398名分、金額で4,194万円を支給しております。

また、高齢者世帯への支援は、65歳以上の高齢者1人当たり5千円を3,769名分、金額で1,884万5千円を支給しております。

今後は、それぞれ3月末に2回目の支給を行い、高齢者については年度内で事業を完了し、子育て世帯については、年度末に出生した新生児等について、4月以降に支給を行います。

また、町民及び事業者支援を目的とした、町民一人あたり1万2千円の町民応援デジタル商品券は3月20日からの利用開始を予定しているところです。

利用開始に間に合うよう3月中旬までには、各世帯へ郵送されることとなっております。

### **(国の地方財政計画の概要について)**

次に、国の地方財政計画の概要について申し上げます。

本年2月に公表された令和8年度地方財政計画によりますと、物価高の中で、経済・物価動向等を適切に反映するとともに、社会保障関係費や人件費、いわゆる教育無償化に係る地方負担の増加が見込まれる中、地方団体が様々な行政課題に対応し、行政サービスを安定的に提供できるよう、地方財政計画の規模を前年度比5.5%、5兆3,783億円増の10兆4,427億円としております。

また、地方交付税の総額は、前年度比6.5%、1兆2,274億円増の20兆1,848億円としておりますが、将来的な地方財政への影響は不透明であり、今後も予断を許さない状況にあります。

併せて、東日本大震災復旧・復興分として、引き続き震災復興特別交付税 5 3 9 億円を確保し、これを充当する事業規模を 2, 2 1 7 億円と見込んでおります。

また、例年生じていた地方財政の通常収支分の財源不足については、令和 8 年度計画では生じない見込みとなっており、臨時財政対策債についても前年度に引き続き新規発行額がゼロとされ、地方財政健全化への取り組みが示されたところです。

地方分権一括法の施行以来、国と地方の役割分担が明確になり、多方面での権限移譲がなされていますが、肝心の財源の移譲については国の主導に委ねられておりますので、引き続き、全国町村会などを通し、強く要望してまいります。

今後も厳しい財政運営が続くものと想定されますが、第七次猪苗代町振興計画の各種事業を着実に進めるため、<sup>こっけん</sup>国県補助金の活用や<sup>こっけん</sup>税込等の歳入確保に努め、徹底した経費削減による行財政改革を推し進め、財政の健全化に一層努力してまいります。

### **(令和 8 年度一般会計予算の概要について)**

次に、令和 8 年度一般会計予算の概要について申し上げます。

本町の令和 8 年度一般会計予算の総額は、9 3 億円

であり、前年度比で6,900万円の減額となりました。

まず、歳入については、現下の社会経済情勢は物価高の影響もあり、引き続き厳しい状況にはありますが、町民税においては、賃金引上げ等に伴う給与所得の伸びや、米価高騰による農業所得の伸びが期待できることなどから、町税全体で前年度比4.7%増の19億7,356万6千円を計上しております。

自主財源の根幹である税の確保については、引き続き徴収率の向上にも努め、負担の公平性を図ってまいります。

地方交付税については、これまでの交付実績や単位費用等も勘案し、前年度比4.4%増の34億4,193万3千円を計上しております。

町債については、後年度に交付税措置のある過疎対策事業債、緊急防災・減災事業債などを活用し、合計で前年度比5,040万円減の6億7,980万円の発行を予定しております。

これにより令和8年度末における町債の現在高は、前年度比で約4億円減の、約76億4千万円となる見込みです。

町債の発行方針については 予算総額の10%以下、かつ元金償還額以内にとすることとしており、今後も安定した財政基盤を維持するため 可能な限り起債額を抑制してまいります。

一方、歳出については、物価高が及ぼす影響や少子高齢化に伴う義務的経費の増加などが見込まれることから、内部管理経費の節減に努め、臨時的経費も、事業の効果と緊急性を最重点に選別することにより、事業費の圧縮を図ったところであります。

次に、計画最終年度となる第七次猪苗代町振興計画後期計画に基づき、令和8年度予算に反映させた主な事業について申し上げます。

振興計画では、まちづくりの基本理念を「ともに地域を育て、みんなが心地よく暮らせるまち 猪苗代」と定め、5つの基本目標を掲げてまちづくりを進めております。

まず第1は、「安全・安心を肌で感じる。」であり、まちの基盤づくりや、きめ細やかな子育て支援、福祉と健康のまちづくりに係る事業となります。合計で29億3千7百万円の事業を計上しております。

主なものでは、まちの基盤づくりとして、道路維持関連事業に9千4百万円、道路の点検・調査を行い町道全体の長寿命化を図るため、新たに、町道舗装長寿命化修繕計画策定事業に2千7百万円を計上しております。

子育て支援関係では、こども園の運営経費に1億2千2百万円、放課後児童クラブ運営事業に5千9百万円を計上するほか、出産手当支給事業については第1子から一律20万円の支給に拡充し、

9 百万円を計上したところです。

健康づくり関係では、福島県が開発する「次期ふくしま健民アプリ」の積極的な活用のため、アプリ内で付与する市町村独自ポイントに係る経費を計上し、市民の生活習慣病の予防・改善を図ってまいります。

基本理念の第2は、「豊かな自然を活かしきる。」です。観光まちづくりの推進や地域産業の振興、自然資源の保全と活用に係る事業となりますが、合計で6億9千9百万円を計上しております。

主なものでは、商工観光関係で、商工業金融対策事業に1億4千3百万円、教育旅行支援事業に3千4百万円、中小小売店活性化事業として、新たに、プレミアムデジタル商品券発行事業に1千1百万円などを計上しております。

農業関係では、新たな町単独補助事業として、担い手の確保と育成及び経営の安定を図るため、農業用機械整備事業補助金を、雇用就農者については、雇用安定と技術定着を図るため、雇用就農支援事業補助金を創設し、総額で1千万円を計上しております。

自然資源の保全と活用では、ゴミの減量化に向け、資源ゴミ等の一時保管を目的としたストックヤードの整備のため、ゴミ焼却施設及びし尿処理施設跡地整備事業に1億5千9百万円を予算化しました。

次に第3は、「いつまでも猪苗代に暮らす。」であり、魅力的なライフスタイルの実現、地域文化を基盤とし

た交流、生涯学習の推進に係る事業で、総額で2億1千万円を計上しております。

主なものとして、定住促進事業に9百万円、地域おこし協力隊の活動事業費に5千9百万円、公園施設長寿命化計画に基づき、総合体育館の空調設備改修事業として8百万円を計上しております。

次に第4は、「人をつくる。そして、まちをつくる。」であり、地域を担う人材の育成、教育の充実に係る事業には、合計で5億3千8百万円を充てております。

主なものでは、猪苗代中学校の駐車場舗装工事として2千8百万円、小中学校の児童生徒を対象とした学校給食無償化事業として5千7百万円を計上しております。

最後に第5の、「協働により、みらいをひらく。」では、新しい時代の行財政運営や住民参加の推進に係る事業となり、合計で2億8千万円を計上しております。

高度情報化推進事業では、自治体システム標準化に伴う改修事業や自治体クラウドサービス利用料などを計上し、行政サービスの充実と効率化を目指してまいります。

加えて、東日本大震災及び東京電力福島原子力発電所事故から間もなく15年となりますが、未だ道半ばである本町の復興に向け、教育旅行支援事業やプレミアム付旅行券事業や旅行エージェント支援交付金事

業にも引き続き取り組んでまいります。

以上、主な事業について申し上げましたが、これ以外にも住民生活に密着した施策について充実を図り、町民福祉の向上に努めるよう予算を調製いたしましたので、議員各位のご理解とご協力をお願い申し上げます。

### **(農業情勢について)**

次に、農業情勢について申し上げます。

まず、令和7年産米の価格状況ですが、農林水産省が公表している米の<sup>あいたい</sup>相対取引価格の令和8年1月末時点の動向は、全国平均で60kg当たり35,465円となり、対前年比9,538円増の137%の水準となっております。

また、本町に関する、福島県産の米の銘柄別の60kg当たりの対前年比は、会津産コシヒカリが8,650円増の38,475円、県内産ひとめぼれが6,489円増の32,865円、県内産天のつぶが6,202円増の33,278円と、主要銘柄はそれぞれ増となったところであります。

このような状況下において、県などで構成される「水田農業産地づくり対策等推進会議」から提示された令和8年産主食用米の本町の作付け目安につきま

しては、2,139ヘクタールでこの内数として備蓄米が含まれるとのことであり、令和7年産主食用米の実績2,161ヘクタールと比較すると22ヘクタールの減となっております。

なお、令和8年度の本町の農業生産方針については、消費者の米価に対する関心が高まっている中、良質な農産物の生産地として選ばれる産地づくりを強力に推進するとともに、「そば」「大豆」の土地利用型作物や、「トマト」「アスパラガス」「トルコギキョウ」「カラー」などの高付加価値農産物の生産を奨励してまいります。さらには、猪苗代町農業活性化協議会の農産物等ブランド「いいな！いなわしろ」の認定制度を活用して本町農産物のブランド化を推進するとともに、経営所得安定対策などの国の支援策を活用しながら、農業者の経営安定と所得向上のための施策を進めてまいります。

### **(雇用情勢について)**

次に、雇用情勢について申し上げます。

厚生労働省 福島労働局の情報によりますと、県内の今年3月卒業予定の高校生の就職内定率は、昨年11月末現在で就職内定者2,966人、90.5%となっております。

また、12月の県内の有効求人倍率1.19倍に対し、会津若松管内は求職者3,496人に対し、求人

数は4,987人で、有効求人倍率は1.43倍であり、前年同月の1.33倍と比較すると0.1ポイント増加しております。

町としても、引続き無料職業紹介所における相談窓口の充実とハローワークからの情報提供を定期的に行うとともに、町商工会と連携し、新規学卒者等就職支援奨励金制度を町内企業に周知し、求職者や若者の雇用拡大に努めてまいります。

### **（観光産業や商工業の振興について）**

次に、観光産業や商工業の振興について申し上げます。

昨年1月から12月までの「道の駅猪苗代」を含めた町内の主な観光施設等の年間観光入込客数は、約246万人となり、前年対比で約20万人上回る結果となりました。

また、1月末までのスキー場の入込客数につきましては、12月中の降雪の遅れにより前シーズン対比で約4万1千人減少し、約8万7千人となっております。1月以降は一定の降雪がありましたが、2月中旬以降は暖かい日や降雨があり、最終的な入込客数は減少することが予想されます。

例年より早めの春を迎え、スキー場以外での観光施設の入込に期待するところです。

### **(教育情勢について)**

次に、本町の教育情勢についてご説明申し上げます。

猪苗代中学校においては、この度、福島県の「ふくしまゼロカーボンアワード2025」における最優秀賞を受賞いたしました。この賞はSDGsを生徒が推進し、環境教育についての多彩な取り組みが評価されたものであり、2年連続の受賞となりました。この受賞は学校、生徒には自信と励みになるものであり、町としましても猪苗代中学校の活躍は大変喜ばしく、今後も自主的な取り組みや活動を期待するものであります。

小学校においては、野口スキー大会が開催され、アルペン競技、クロスカントリー競技に児童が参加し、体力向上とスキーに親しむとともに、学校間の親睦を深めました。

また、猪苗代高校の全国公募ですが、12月に留学生の面接試験を実施し、1月には8名について内定通知を行ったところです。今後は3月に行われる県立高校選抜試験により、最終的な留学生が確定いたしますので、町としましては入学後の留学生活に不安がないよう、受入れ体制を整えているところであります。

### **(文化・スポーツの推進について)**

次に、文化・スポーツの推進について申し上げます。

猪苗代町体験交流館「学びいな」は、学習と文化活

動の拠点として定着し、多くの方にご利用いただいております。

令和8年度も引き続き、町民の皆様の要望に応えた各種講座や教室の開催と、「学びいな祭り」などの官民協働事業を展開し、本町の文化・芸術を発信して、地域文化の創造と「心豊かな猪苗代町」の育成に努めてまいります。

また、猪苗代町図書歴史情報館「和みいな」は、本の貸出しのみならず、読み聞かせ会や文化事業を開催しながら公立図書館としての役割を果たしております。

猪苗代町歴史民俗資料館では、1,700点を数える民俗資料などを公開展示しており、今後も多くの方に観ていただくため、魅力ある企画展などを行ってまいります。

次に、スポーツの推進について、町は「スポーツ振興宣言の町」として、総合体育館や運動公園等の適正な管理と運営、各種スポーツ団体への指導、援助を積極的に行い、町民の皆様の健康増進と競技力向上に努めているところです。

1月末に、猪苗代スキー場で開催された全日本スキー選手権猪苗代SG3連戦では、選手や関係者・役員を含め延べ1,200人が来町され無事大会を終了することができました。

また、3月6日からミラノ・コルティナで開催されます「冬季パラリンピック」に、本町出身の鈴木猛史

選手が出場しますので、町を挙げて応援してまいります。

令和 8 年度においても町健康マラソン大会や世代間交流のスポーツフェスティバルなどを開催するとともに市町村対抗の「駅伝競走大会」「軟式野球大会」「ソフトボール大会」への参加や「福島県高等学校駅伝競走大会」「うつくしまアクアスロン in あいづ & オープンウォータースイム」などの開催を通じて、元気な猪苗代町を発信し、おもてなしの心を持って、スポーツイベントに取り組んでまいります。

### **(提出案件について)**

最後になりますが、本定例会に提出いたします案件は、

- ・ 損害賠償に係る専決処分<sup>の</sup>報告案件が 2 件、
- ・ 令和 7 年度の一般会計、特別会計及び事業会計に係る補正予算案件が 計 8 件、
- ・ 令和 8 年度の一般会計、特別会計及び事業会計に係る当初予算案件が 計 1 1 件、
- ・ 条例の一部改正案件が 計 5 件、
- ・ 公共施設等に係る指定管理に係る案件が 1 6 件、
- ・ 過疎地域持続的発展計画の一部変更及び策定案件が 2 件、
- ・ 人権擁護委員に係る諮問案件が 1 件の 合計 4 5 案件であります。

各議案の細部につきましては、それぞれ所管する担当課長に説明いたさせますので、慎重にご審議の上速やかなご議決を賜りますようお願い申し上げます。